

## 片浜地区より

片浜地区は令和4・5年で、「地域づくり講座」「フォローアップ講座」を通して、男女共同参画の視点から考える防災について学びました。講座を通じて片浜地区連合自治会の土屋会長よりコメントが寄せられました。



<コメント>

この2年間で実施した「地域づくり講座」と「フォローアップ講座」を通じて、男女共同参画の視点に立った防災活動の見直しと意識づけができました。また、この講座が良いきっかけとなり、実際に訓練を行うことができました。この訓練を第一歩とし、男女共同参画の意識を持続させて、更なる充実した防災活動に努めていきたいと思っております。

## 犬塚教授のコメント



避難所開設訓練において、参加者の人数割合が男女で大差ないことや、個々の役割を決めていないにもかかわらず、性別関係なく意見を出し合いながら開設作業ができたことはとても良かったと思います。実際の災害時にはおそらく今回の訓練に近い状態で避難所開設が行われるため、そういった意味でも、その体感ができたことは、地区にとって非常に良い点であると評価できます。

また、訓練をさらに充実させるためには、避難所立ち上げの段階で、女性や要配慮者の視点をいれること等を課題としてあげられますが、性別分業せずに女性が積極的に動いて作業し、地区全体がその感覚を共有できたことはとても良い成果であり、ぜひこの成果を活かし、より実践的な訓練の実施に努めていただければと思います。

## 令和5年度沼津市男女共同参画情報誌

# ハーモニー

本市では、地域の皆さんの協力を得ながら、様々な地域活動を通して、男女共同参画意識の浸透や定着化を目的に取り組んでいます。令和4年度から5年度にかけて、片浜地区コミュニティ推進委員会を対象に男女共同参画の視点の必要性について認識を深め、男女ともに地域活動に参画できるよう、講義とワークショップを行いました。

今回、この2年間の片浜地区の取り組みの報告として「ハーモニー」を作成しましたので、皆さんにお届けします。今後の地域活動の参考にしていただければ幸いです。

## 令和4年度 男女共同参画地域づくり講座

令和4年度には計4回の講座を開催しました。連合自治会、単位自治会の会長・副会長、防災指導員、女性部会長、CSコーディネーター、消防団分団長の方々を中心に、約20人の皆さんにご参加頂きました。

静岡県立大学国際関係学部の犬塚教授を講師にお招きし、「男女共同参画の視点で見直す地域防災活動」をテーマに開催。男女共同参画の基礎から、学んだ内容を活かした避難所設営の図上演習まで、男女共同参画の視点に立った地域防災活動を考えるワークショップを行いました。



令和5年度は！

## 金岡地区にて「地域づくり講座」を実施！

令和5年度は金岡地区で「男女共同参画の視点からの避難所設営」をテーマに「地域づくり講座」を計4回実施しました。第1・2回は、男女共同参画についての基礎的な知識について、犬塚教授にご講義いただき、防災の穴埋めクイズを行いました。第3・4回は、実際に避難する体育館を想定した、避難所運営の図面演習とグループごとの発表を行い、講評を頂きました。



避難所  
チェックシート  
で何が必要な  
のかを確認！

地域活動には、  
男女共同参画の  
視点を反映させ  
る必要があります。

## なぜ地域活動に男女共同参画の視点が必要か？

高度経済成長期において、性別により役割を決めつける「性別役割分業」の考え方は、効率が良く、その仕組みが上手く機能していました。しかし現在の社会においては、むしろそれはリスクとなっており、女性の社会進出等で人々の意識が「男女共同参画」の考えに変化しつつありますが、実態は大きく変わっていないのが現状です。

自治会においても、長らく男性中心で地域活動が行われてきたと思われませんが、地域の大事な意思決定の場に女性が参入することで、男女共同参画の意識づけとともに、規約やマニュアル等の見直しを図り、自治会の在り方に変革をもたらす必要性があります。

また、近年においては、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。そういった災害に備え、普段から地域活動に主体的に参画することで、男女共同参画の意識が浸透し、災害時においても、性別関係なく、地域全体での助け合いが可能となります。



犬塚教授



発行：沼津市 政策推進部 地域自治課 協働推進係  
〒410-8601 沼津市御幸町16-1  
TEL：055-934-4807  
FAX：055-931-2606  
Mail：kyodo@city.numazu.lg.jp  
(令和6年3月発行)



男女共同参画についての  
沼津市HPはこちらから。



# 男女共同参画地域づくり講座の振り返り

## ○第1回（令和4年9月12日）

男女共同参画とは、「そもそも何なのか」「なぜ必要なのか」について、犬塚教授にご講義いただきました。概要説明後には、内閣府作成のガイドラインから抜粋した「防災基礎クイズ」に挑戦しました。



## ○第2回（令和4年10月11日）

第1回目振り返りとともに、身近な地域が被災したことによる経験談も交え、男女共同参画の視点を取り入れた防災力の必要性について考えました。グループに分かれ、内閣府作成の「避難所チェックシート」を議論しながら解きました。

### 男女共同参画の視点からの防災 6つの基本方針

1. 平常時からの( **男女共同参画** )の推進が防災・復興の基礎となる。
2. ( **女性** )は防災・復興の「主体的な担い手」である。
3. 災害から受ける影響やニーズの( **男女の違い** )に配慮する。
4. ( **男女の人権** )を尊重して安全・安心を確保する。
5. ( **女性の視点** )を入れて必要な地域での連携・協働体制を構築する。
6. ( **要配慮者** )への対応についても女性のニーズに配慮する。

## ○第3回（令和4年11月14日）

第3回からは、片浜地区の指定避難所である「片浜小学校体育館」と「片浜中学校体育館」の図面上に、同じ縮尺で印刷した資機材シート（ワンタッチパーテーションや段ボールベッド等）を配置する、避難所設営の図面演習を行いました。

第4回は、第3回で考えた避難所レイアウトについて、グループごと発表を行いました。男女共同参画の視点だけではなく、体育館に付随する設備等の各避難所の特徴も考慮しつつ考えるレイアウト作成について、悩む様子も多く見られましたが、犬塚教授の助言も受けながら、すべてのグループが、工夫点等を他の参加者へ伝え、地区全体で情報を共有しました。

## ○第4回（令和4年12月12日）



↑性別関係なく意見を出し合い、避難所レイアウトについて考えました。



↑グループごとに考えたレイアウトの工夫点やポイントを発表後に、講評を受けました。

# 令和5年度 男女共同参画フォローアップ講座

令和4年度に実施した「男女共同参画地域づくり講座」を踏まえ、地域におけるさらなる男女共同参画の意識の定着を図り、継続的に男女共同参画活動の実現をサポートするため、「男女共同参画フォローアップ講座」を実施しました。

引き続き、「地域防災において男女共同参画の意識がなぜ重要なのか」という視点で、“女性と要配慮者等にきめこまやかな対応ができる避難所運営”をテーマに、計2回の講座を開催。引き続き講師を務める、犬塚教授よりアドバイスをいただきました。

## ○第1回（令和5年9月11日）

令和4年度の初回講座にて行った「男女共同参画の概要」と「なぜ必要なのか」について、再度復習を行いました。今年度初めて参加された方も男女共同参画についての重要性を学ぶことができました。

また、講座後半は片浜地区の避難所運営マニュアル案について犬塚教授から講評を受けました。マニュアルの内容は、昨年度、講座で学んだ内容が含まれていましたが、同時に新たに加えるべき項目も課題としてあげられました。



↑第1回講座では、昨年度「地域づくり講座」で学んだ男女共同参画についての復習と、案として作成した避難所運営マニュアルの講評を受けました。

いよいよ実践へ!

## ○第2回（令和5年11月27日）

これまでの2年間の取り組みの実践の場として、令和5年11月27日に、片浜小学校に実際に配備されている資機材の取扱訓練と避難所設営訓練を行いました。

片浜小学校倉庫にある資機材のうち、ワンタッチパーテーション等について、組み立ての実践を行いました。あえて役割分担せず作業を開始することで、実際の災害時に近い状態を想定した訓練を実施することができました。訓練には約40名が参加し、男女関係なく積極的に意見を出し合い、作業をすることで、資機材について理解しようとする姿が見られました。

また、資材の位置確認や使い心地を体感したことで、どう避難所設営をしていくべきかイメージでき、実際の災害を見据えた訓練となりました。

